

## 視点をを変える～偏った見方からの脱却～

校長 近藤 幸栄

ようやく今年の冬も峠を越え、春の気配を感じることでできる季節となってきました。また、来年度から運用を開始する二葉小学校に隣接する消防本部・新発田消防署新庁舎も完成に近づいているようです。

冬の間も学校側から、消防署新庁舎が徐々に出来上がっていく姿を毎日見ていました。今までは白いネットが張られているせいか、中の様子はよく分かりませんでした。

ある朝、歩道橋の下で児童の登校を見守り・あいさつし、たまたま用があって歩道橋に登ってみると、いつも見ている消防署とは、また違った一面の消防署を見ることができました。学校側から見ていると気付かない、新庁舎屋上には大きな空調設備と思われる機器や太陽光パネルが並んだ壮観な姿を見ることができました。



2月24日 児童玄関から撮影

「ああ、こんな風になっているのか」という思いと、「いつも見ている方からでは、気付かないことが様々あるものだ」と改めて気付かされました。

見る方向によって、見える物や見え方に違いがあることに気付かされ、今度は、中田町の方に回り込んでみました。中田町方面からは、グラウンド越しに見る姿とは一変し、白く輝く綺麗な外壁が目飛び込んで来ました。

まもなく完成する新発田消防署新庁舎を改めて見ながら、「見る方向によって、それぞれ違う姿を見せるものだ」と改めて気付かされました。

私たちは物事を見るときや子どもたちを見るとき、自分が見ている方向から見えている姿のみで判断してしまうことがあるのではないのでしょうか。物事でも人に対してでも、一面的な見方ではなく、多面的な見方をすることによって、物事の本質が見えたり、その人のよさが見えたりするのではないかな、と改めて気付かされる出来事でした。学校でも子どもたちを一面的な側面だけでなく、様々な方面から見取り、よさを見つけ伸ばしていく大切さを改めて感じました。



2月24日 中田町2丁目方面から撮影

今年度もあと一か月となりました。新庁舎も来月には竣工式を迎えまもなく運用開始となるようです。それに向けて、外構なども整え始められました。学校でも教育活動を見直しながら今年度の締めくくりを行うとともに、来年度の準備を進めています。今後とも学校に対する変わらぬご支援・ご協力をお願いします。